
第5回「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」環境サステナブル企業部門 新設の「環境開示プログレス企業」に選定

株式会社ダスキン（本社：大阪府吹田市、社長：大久保 裕行）は、環境省が主催する第5回「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」の環境サステナブル企業部門において、今回より新設された「環境開示プログレス企業」に選定されました。



「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」は、ESG金融または環境・社会事業に積極的に取り組み、インパクトを与えた機関投資家、金融機関、仲介業者、企業等について、その先進的取り組み等を広く社会で共有し、ESG金融の普及・拡大につなげることを目的として環境大臣が表彰するものです。

重要な環境課題に関する「リスク・事業機会・戦略」、「KPI」、「ガバナンス」の開示充実度を業種別特性も考慮して評価・選定しており、一次選定の評価点における改善の幅が高く、より一層の発展が期待される企業を「環境開示プログレス企業」として選定。当社を含め19社が選ばれました。

当社は2021年4月にCSV経営の更なる推進に向け、環境マネジメント体制および環境方針を改定するとともに、2021年6月に2030年までの環境経営における目標「ダスキン環境目標2030（DUSKIN Green Target 2030）」を策定し、推進しています。また、当社のESGの取り組みや活動について統合レポートやホームページを通じ、積極的に開示しております。

今後も具体的な施策や指標の充実を図り、より一体的な情報開示に努め、ステークホルダーの皆様の期待と信頼に応えるべく継続して改善に取り組むことで、更なる企業価値の向上と持続可能な社会の実現に貢献する企業を目指します。

<ESGファイナンス・アワード・ジャパン【環境サステナブル企業部門】概要>

<https://www.env.go.jp/policy/award.kigyobumon.html>

<ESGファイナンス・アワード・ジャパン【環境サステナブル企業・環境開示プログレス企業一覧】>

<https://www.env.go.jp/content/000199466.pdf>

■ダスキ環境目標2030（DUSKIN Green Target 2030）

ダスキグループは、環境方針で掲げた循環型社会づくりや脱炭素社会の実現に貢献することを目指し、2030年度までの環境経営における目標として、2021年6月「ダスキ環境目標2030（DUSKIN Green Target 2030）」を策定しました。

循環型社会づくりに向けて、フード事業における食品廃棄ロス量の削減目標やグループ全体で使用している化石資源由来プラスチックの削減、容器包装プラスチックのリサイクル率を向上させる目標を設定しました。また、脱炭素社会の実現に向けて、2030年度までに再生可能エネルギーの利用比率の目標を50%に設定するとともに、グループ拠点におけるCO2排出削減目標を2013年度比26%から46%に引き上げました。今後も、サステナブルを目指す企業として環境保全と企業経営の両立に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

廃棄物削減、資源の有効活用により 循環型社会づくりに貢献します

2030年度目標

- ・食品ロス量 **半減**（2000年度比）
- ・化石資源由来ワンウェイプラスチック
25%排出抑制（2020年度比）
- ・容器包装プラスチックリサイクル率 **60%**

気候変動への対応により 脱炭素社会の実現に貢献します

2030年度目標

- ・再生可能エネルギー利用率 **50%**
 - ・ダスキグループ拠点のCO2排出量
46%減（2013年度比）
- ※Scope 1,2：46%減、Scope3：26%減

■ダスキンのサステナビリティへの取り組み

<https://www.duskin.co.jp/sus/>